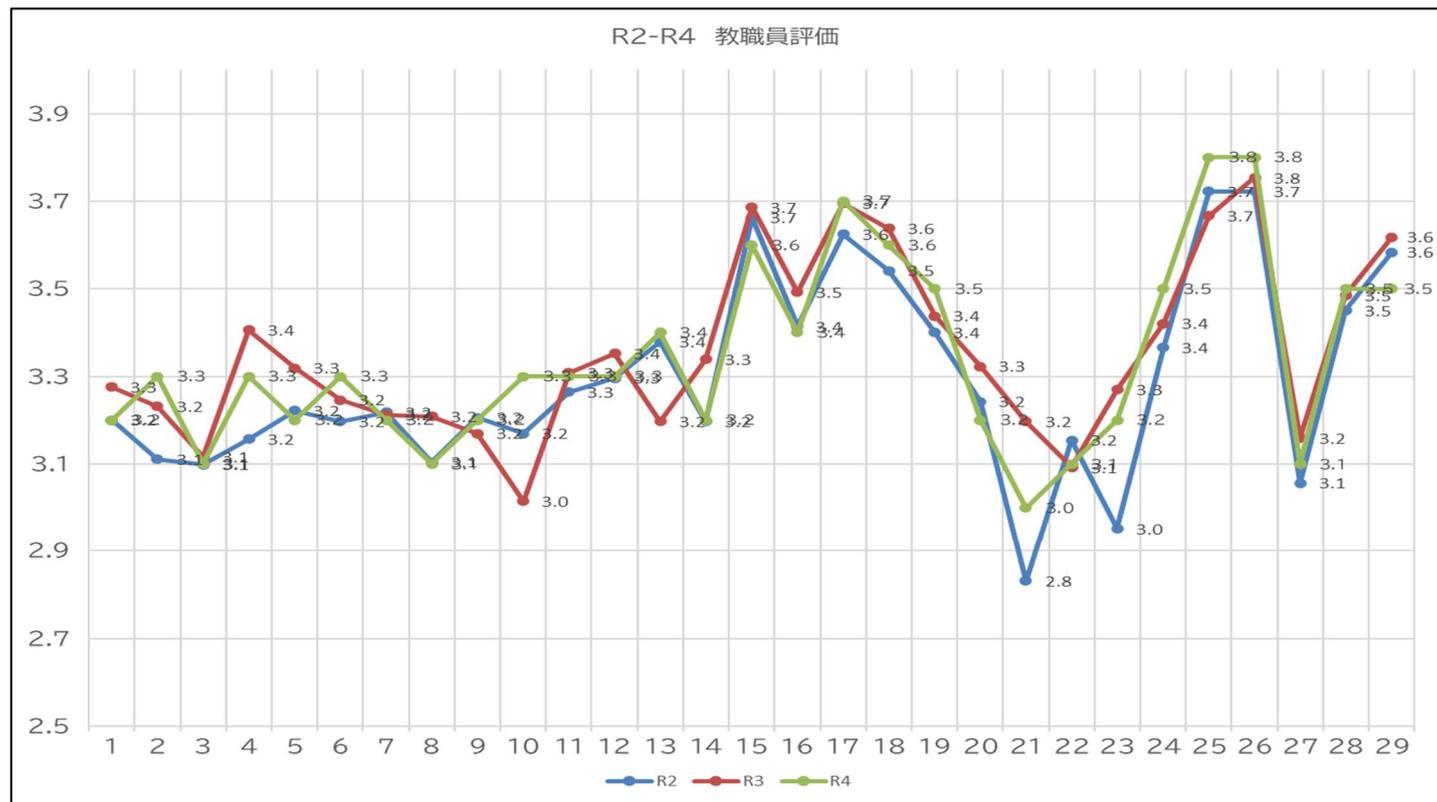


【教職員】配布数 78名 回収数 78名 回収率 100%(R3 94.0%)

項目	No.	質問内容	年度	ポイント平均	
<b>学校経営</b>  <b>学校教育目標</b> 「児童生徒の主体的に生きる力を伸ばし地域社会の中で豊かに生活する人を育てる」	1	教育目標や目指す子ども像、学級目標、個別の指導計画の目標等を意識した指導を実施することができた。	R2	3.2	
			R3	3.3	
			R4	3.2	
			R2	3.1	
	2	児童生徒にとって、学校生活は楽しく充実したものになった。	R3	3.2	
			R4	3.3	
			R2	3.1	
	3	本校の教育は、児童生徒、保護者にとって満足できるものとなった。	R3	3.1	
			R4	3.1	
			R2	3.2	
	4	学校行事(学校祭等)は、児童生徒が主体的に取り組めるよう工夫できた。	R3	3.4	
			R4	3.3	
			R2	3.2	
	<b>確かな力を付ける学校(児童生徒)</b>  ○個々の実態に応じた確かな学力・生きる力を育む授業の実施  ○寄宿舎での生活指導・余暇活動の充実	5	個別の指導計画(学校)や個別の生活指導計画(寄宿舎)を踏まえた指導・支援に取り組むことができた。	R2	3.2
				R3	3.3
				R4	3.2
6		児童生徒一人一人の主体性や可能性を大切に授業づくりができた。	R2	3.2	
			R3	3.2	
			R4	3.3	
7		授業が分かりやすく、児童生徒が意欲的に学習に取り組めるように、授業や教材の工夫ができた。	R2	3.2	
			R3	3.2	
			R4	3.2	
8		児童生徒の成長や学習の様子が分かりやすく揭示することができた。	R2	3.1	
			R3	3.2	
			R4	3.1	
9	寄宿舎指導員は、将来の生活につながる取組(生活力、余暇活動等)ができた。学校職員は、そのための協力を行うことができた。	R2	3.2		
		R3	3.2		
		R4	3.2		
10	学年・学部が変わったとき、指導目標や支援内容・方法の引継ぎが適切にできた。	R2	3.2		
		R3	3.0		
		R4	3.3		
<b>信頼され、安心できる学校(保護者)</b>  ○学校情報の継続的な発信と公開  ○関係機関との連携の充実	11	学校は、学年通信やホームページ、学校だより等で学習活動の様子や情報を積極的に発信することができた。	R2	3.3	
			R3	3.3	
			R4	3.3	
	12	学校は、保護者の思いを受け止めながら児童生徒の教育を行うことができた。	R2	3.3	
			R3	3.4	
			R4	3.3	
	13	学校は、関係機関(美唄学園、デイサービス等)と連携・協力した支援を行うことができた。	R2	3.4	
			R3	3.2	
			R4	3.4	
	14	進路を考える上で参考となる情報を提供することができた。	R2	3.2	
R3			3.3		
R4			3.2		
15	アレルギー除去食や食形態など児童生徒に状態像にあった給食を提供することができた。	R2	3.7		
		R3	3.7		
		R4	3.6		

<b>連携を深めたい学校(地域)</b>  ○特別支援教育のセンター的な機能の充実  ○関係機関との連携の充実	16	学校は、避難訓練や不審者及び交通安全への対応を十分に行うことができた。	R2	3.4
			R3	3.5
			R4	3.4
			R2	3.6
	17	挨拶等がしかりできた。	R3	3.7
			R4	3.7
	18	児童生徒を「さん」を付けて呼ぶことができた。	R2	3.5
			R3	3.6
	19	学級費等の使途が分かりやすく説明することができた。	R2	3.4
			R3	3.4
			R4	3.5
	<b>支え合い、協働できる学校(職員)</b>  ○教育公務員としての社会的責任の自覚と服務規律の保持  ○協働意識の向上とチーム力の発揮	20	特別支援教育のセンター機能(教育相談、学校の等支援、研修支援等)を組織的に取り組むことができた。	R2
R3				3.3
R4				3.2
21		地域の人材や社会教育施設など地域資源を活用した授業を計画的に取り組むことができた。	R2	2.8
			R3	3.2
			R4	3.0
22	本校の教育活動は、地域(近隣地域、学校等)に対して貢献している学校である。	R2	3.2	
		R3	3.1	
23	共生社会の形成に向けて、学校間交流や居住地校交流などの内容の充実を図ることができた。	R2	3.0	
		R3	3.3	
		R4	3.2	
その他	24	教職員間で、子どもの話をしたり、相談し合ったりするなど協力し合って仕事に取り組むことができた。	R2	3.4
			R3	3.4
			R4	3.5
	25	児童生徒の個人情報の保護に努めることができた。	R2	3.7
			R3	3.7
			R4	3.8
	26	法令遵守に取り組むことができた。	R2	3.7
			R3	3.8
	27	教職員の資質、専門性の向上のために、主体的に研究・研修を行うことができた。	R2	3.1
			R3	3.2
R4			3.1	
28	物品購入や書類等、適切に処理することができた。	R2	3.5	
		R3	3.5	
29	感染症対策等の危機管理を適切に行うことができた。	R2	3.6	
		R3	3.6	
		R4	3.5	



## 【教職員】

【集計結果の状況】(令和3年度と比較して)

今年度、現項目(質問内容)として3年目である。令和2年度から今年度までの比較のグラフを掲載した。さらに、集計する際には、3か年の集計環境が同様になるようにして再度集計をした。

〈0.1P以上上がった項目〉

2	児童生徒にとって、学校生活は楽しく充実したものになった。	3.3	0.1P↑
6	児童生徒一人一人の主体性や可能性を大切に授業づくりができた。	3.3	0.1P↑
10	学年・学部が変わったとき、指導目標や支援内容・方法の引継ぎが適切にできた。	3.3	0.3P↑
13	学校は、関係機関(美唄学園、デイサービス等)と連携・協力した支援を行うことができた。	3.4	0.2P↑
19	学級費等の使途が分かりやすく説明することができた。	3.5	0.1P↑
24	教職員間で、子どもの話をしたり、相談し合ったりするなど協力し合って仕事に取り組むことができた。	3.5	0.1P↑
25	児童生徒の個人情報の保護に努めることができた。	3.8	0.1P↑

〈0.0P±0の項目〉

3	本校の教育は、児童生徒、保護者にとって満足できるものとなった。	3.1	
7	授業が分かりやすく、児童生徒が意欲的に学習に取り組めるように、授業や教材の工夫ができた。	3.2	
9	寄宿舎指導員は、将来の生活につながる取組(生活力、余暇活動等)ができた。学校職員は、そのための協力を行うことができた。	3.2	
11	学校は、学年通信やホームページ、学校だより等で学習活動の様子や情報を積極的に発信することができた。	3.3	
17	挨拶等がしっかりできた。	3.7	
18	児童生徒を「さん」を付けて呼ぶことができた。	3.6	
22	本校の教育活動は、地域(近隣地域、学校等)に対して貢献している学校である。	3.1	
26	法令遵守に取り組むことができた。	3.8	
28	物品購入や書類等、適切に処理することができた。	3.5	

〈0.1P下がった項目〉

1	教育目標や目指す子ども像、学級目標、個別の指導計画の目標等を意識した指導を実施することができた。	3.2	
4	学校行事(学校祭等)は、児童生徒が主体的に取り組めるよう工夫できた。	3.3	
5	個別の指導計画(学校)や個別の生活指導計画(寄宿舎)を踏まえた指導・支援に取り組むことができた。	3.2	
8	児童生徒の成長や学習の様子が分かりやすく掲示することができた。	3.1	
12	学校は、保護者の思いを受け止めながら児童生徒の教育を行うことができた。	3.3	
14	進路を考える上で参考となる情報を提供することができた。	3.2	
15	アレルギー除去食や食形態など児童生徒に状態像にあった給食を提供することができた。	3.6	
16	学校は、避難訓練や不審者及び交通安全への対応を十分に行うことができた。	3.4	
20	特別支援教育のセンター的機能(教育相談、学校の等支援、研修支援等)を組織的に取り組むことができた。	3.2	
23	共生社会の形成に向けて、学校間交流や居住地校交流などの内容の充実を図ることができた。	3.2	
27	教職員の資質、専門性の向上のために、主体的に研究・研修を行うことができた。	3.1	
29	感染症対策等の危機管理を適切に行うことができた。	3.5	

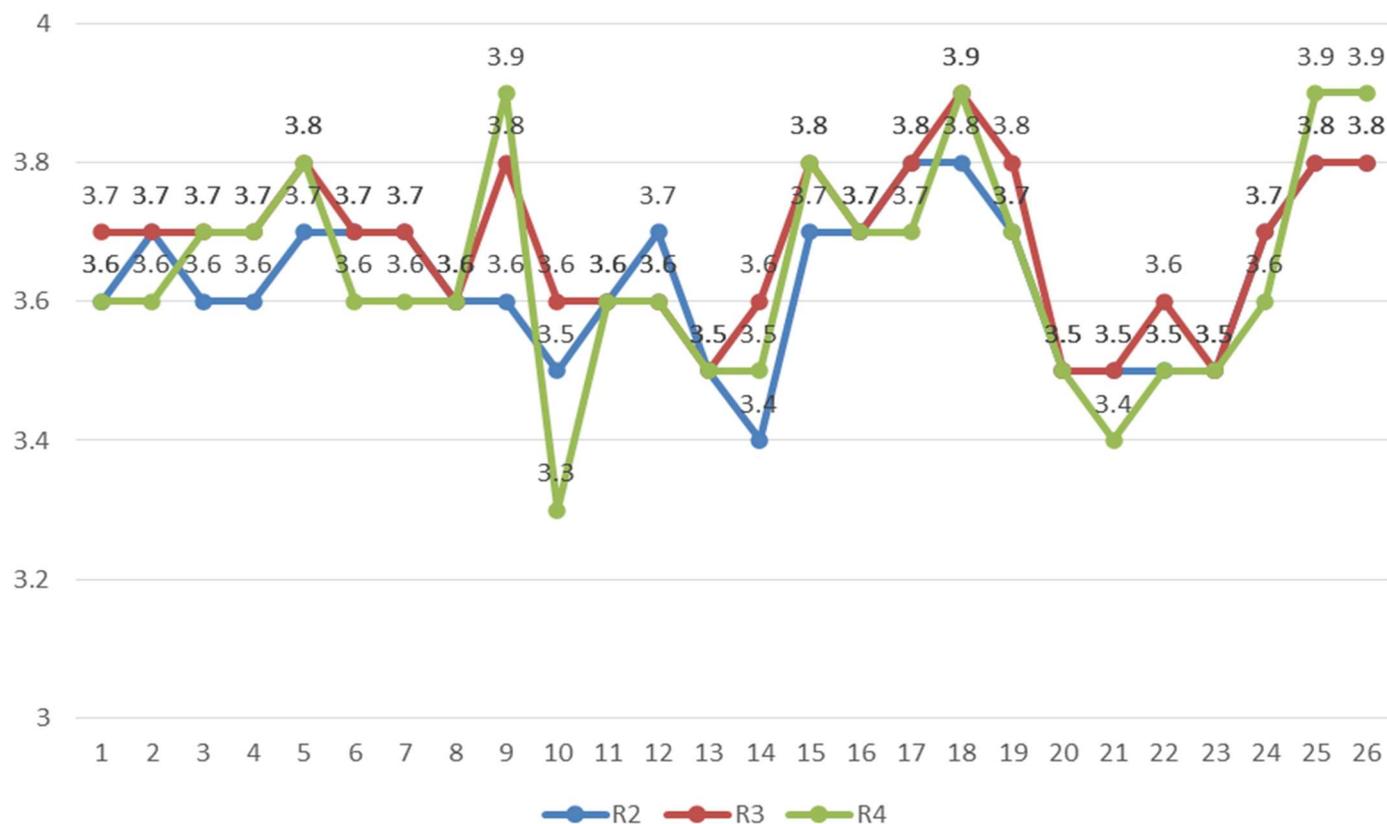
〈0.2P以上下がった項目〉

21	地域の人材や社会教育施設など地域資源を活用した授業を計画的に取り組むことができた。	3.0	0.2P↓
----	---	-----	-------

【保護者】配布数 91名 回収数 74名 回収率 81.3%(R3 86.0%)

項目	No.	質問内容	年度	ポイント 平均
<b>学校経営</b>  <b>学校教育目標</b> 「児童生徒の主体的に生きる力を伸ばし地域社会の中で豊かに生活する人を育てる」	1	学校は、新しい教育目標や目指す子ども像等を意識して指導している。	R2	3.6
			R3	3.7
			R4	3.6
			平均	3.6
	2	児童生徒にとって、学校生活は楽しく充実したものになっている。	R2	3.7
			R3	3.7
			R4	3.6
			平均	3.7
	3	本校の教育に満足している。	R2	3.6
			R3	3.7
			R4	3.7
			平均	3.7
4	学校行事(運動会、学校祭等)は、児童生徒が主体的に取り組めるよう工夫されている。	R2	3.6	
		R3	3.7	
		R4	3.7	
		平均	3.7	
<b>確かな力をつける学校(児童生徒)</b>  ○個々の実態に応じた確かな学力・生きる力を育む授業の実施  ○寄宿舎での生活指導・余暇活動の充実	5	個別の指導計画(学校)や個別の生活指導計画(寄宿舎)を踏まえた指導・支援に取り組んでいる。	R2	3.7
			R3	3.8
			R4	3.8
			平均	3.8
	6	児童生徒一人一人の主体性や可能性を大切に授業が行われている。	R2	3.7
			R3	3.7
			R4	3.6
			平均	3.7
	7	授業が分かりやすく、児童生徒が意欲的に学習に取り組めるように、授業や教材の工夫がされている。	R2	3.7
			R3	3.7
			R4	3.6
			平均	3.7
8	児童生徒の成長や学習の様子が分かりやすく掲示されている。	R2	3.6	
		R3	3.6	
		R4	3.6	
		平均	3.6	
9	寄宿舎での生活指導は、将来の生活につながる取組(生活力、余暇活動等)を行っている。【寄宿舎生の保護者のみ】	R2	3.6	
		R3	3.8	
		R4	3.9	
		平均	3.8	
10	学年・学部が変わったとき、指導目標や支援内容・方法の引継ぎが適切に行われた。	R2	3.5	
		R3	3.6	
		R4	3.3	
		平均	3.5	
<b>信頼され、安心できる学校(保護者)</b>  ○学校情報の継続的な発信と公開  ○関係機関との連携の充実	11	学校は、学年通信やホームページ、学校だより等で学習活動の様子や情報を積極的に発信している。	R2	3.6
			R3	3.6
			R4	3.6
			平均	3.6
	12	学校は、保護者の思いを受け止めながら児童生徒の教育を行っている。	R2	3.7
			R3	3.6
			R4	3.6
			平均	3.6
	13	学校は、関係機関(美唄学園、デイサービス等)と連携・協力した支援を行っている。	R2	3.5
			R3	3.5
			R4	3.5
			平均	3.5
<b>連携を深めたい学校(地域)</b>  ○特別支援教育のセンター的な機能の充実  ○関係機関との連携の充実   <b>支え合い、協働できる学校(職員)</b>  ○教育公務員としての社会的責任の自覚と服務規律の保持  ○協働意識の向上とチーム力の発揮	14	進路を考える上で参考となる情報が提供されている。	R2	3.4
			R3	3.6
			R4	3.5
			平均	3.5
	15	アレルギー除去食や食形態など児童生徒に状態像にあった給食が提供されている。	R2	3.7
			R3	3.8
			R4	3.8
			平均	3.8
	16	学校は、避難訓練や不審者及び交通安全への対応を十分に行っている。	R2	3.7
			R3	3.7
			R4	3.7
			平均	3.7
	17	教職員は挨拶ができています。	R2	3.8
			R3	3.8
			R4	3.7
			平均	3.8
	18	児童生徒を「さん」を付けて呼んでいる。	R2	3.8
			R3	3.9
			R4	3.9
			平均	3.9
	19	学級費等の使途が分かりやすく説明している。	R2	3.7
			R3	3.8
			R4	3.7
			平均	3.8
20	特別支援教育のセンター的な機能(教育相談、学校等の支援、研修支援等)を組織的に取り組んでいる。	R2	3.5	
		R3	3.5	
		R4	3.5	
		平均	3.5	
21	地域の人材や社会教育施設など地域資源を活用した授業に取り組んでいる。	R2	3.5	
		R3	3.5	
		R4	3.4	
		平均	3.5	
22	本校の教育活動は、地域(近隣地域、学校等)に対して貢献している学校である。	R2	3.5	
		R3	3.6	
		R4	3.5	
		平均	3.5	
23	共生社会の形成に向けて、学校間交流や居住地校交流などの内容の充実を図っている。	R2	3.5	
		R3	3.5	
		R4	3.5	
		平均	3.5	
24	学校は、教職員が協力し合って仕事に取り組んでいる。	R2	3.7	
		R3	3.7	
		R4	3.6	
		平均	3.7	
25	児童生徒の個人情報の保護に努めている。	R2	3.8	
		R3	3.8	
		R4	3.9	
		平均	3.9	
26	法令遵守に取り組んでいる。	R2	3.8	
		R3	3.8	
		R4	3.9	
		平均	3.9	

R2-R4保護者評価



【保護者】

【集計結果の状況】(令和3年度と比較して)

今年度、現項目(質問内容)として3年目である。令和2年度から今年度までの比較のグラフを掲載した。さらに、集計する際には、3か年の集計環境が同様になるようにして再度集計をした。

〈0.1P以上上がった項目〉

9	寄宿舎指導員は、将来の生活につながる取組(生活力、余暇活動等)ができた。学校職員は、そのための協力を行うことができた。	3.9	0.1↑
25	児童生徒の個人情報の保護に努めている。	3.9	0.1↑
26	法令順守に取り組んでいる。	3.9	0.1↑

〈0.0P ±0の項目〉

3	本校の教育に満足している。	3.7	
4	学校行事(運動会、学校祭等)は、児童生徒が主体的に取り組めるよう工夫されている。	3.7	
5	個別の指導計画(学校)や個別の生活指導計画(寄宿舎)を踏まえた指導・支援に取り組んでいる。	3.8	
8	児童生徒の成長や学習の様子が分かりやすく掲示されている。	3.6	
11	学校は、学年通信やホームページ、学校だより等で学習活動の様子や情報を積極的に発信している。	3.6	
12	学校は、保護者の思いを受け止めながら児童生徒の教育を行っている。	3.6	
13	学校は、関係機関(美唄学園、デイサービス等)と連携・協力した支援を行っている。	3.5	
15	アレルギー除去食や食形態など児童生徒に状態像にあった給食が提供されている。	3.8	
16	学校は、避難訓練や不審者及び交通安全への対応を十分に行っている。	3.7	
18	児童生徒を「さん」を付けて呼んでいる。	3.9	
20	特別支援教育のセンター的機能(教育相談、学校等の支援、研修支援等)を組織的に取り組んでいる。	3.5	
23	共生社会の形成に向けて、学校間交流や居住地校交流などの内容の充実を図っている。	3.5	

〈0.1P下がった項目〉

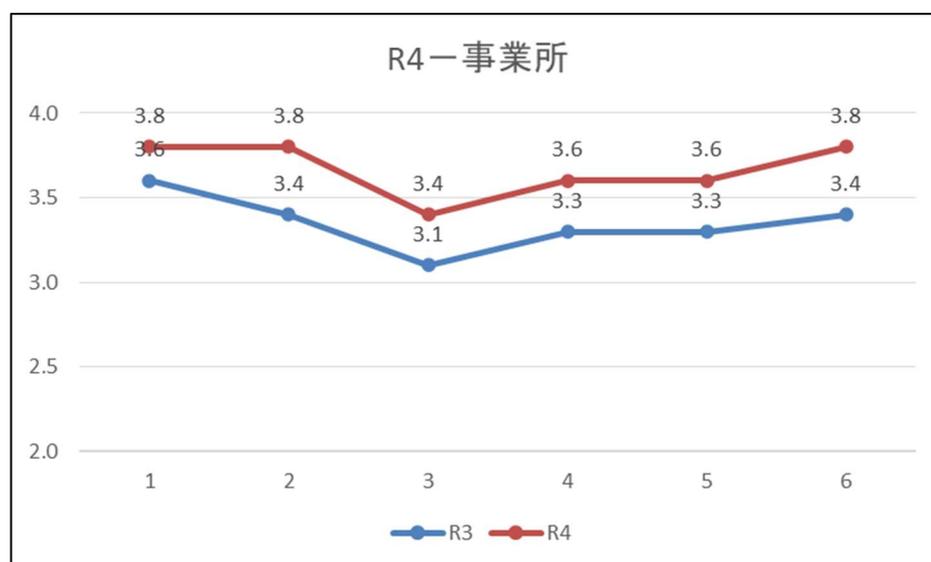
1	学校は、新しい教育目標や目指す子ども像等を意識して指導している。	3.6	
2	児童生徒にとって、学校生活は楽しく充実したものになっている。	3.6	
6	児童生徒一人一人の主体性や可能性を大切に授業が行われている。	3.6	
7	授業が分かりやすく、児童生徒が意欲的に学習に取り組めるように、授業や教材の工夫がされている。	3.6	
14	進路を考える上で参考となる情報が提供されている。	3.5	
17	教職員は挨拶ができています。	3.7	
19	学級費等の使途が分かりやすく説明している。	3.7	
21	地域の人材や社会教育施設など地域資源を活用した授業に取り組んでいる。	3.4	
22	本校の教育活動は、地域(近隣地域、学校等)に対して貢献している学校である。	3.5	
24	学校は、教職員が協力し合って仕事に取り組んでいる。	3.6	

〈0.2P以上下がった項目〉

10	学年・学部が変わったとき、指導目標や支援内容・方法の引継ぎが適切に行われた。	3.3	0.3P↓
----	--	-----	-------

【事業所等】 配布数 10 所 回収数 8 所 回収率 80%

No.	質問内容	年度	ポイント平均
1	本校職員の挨拶や対応は、社会人として適切である。	R3	3.6
		R4	3.8
2	本校は、事業所や学校等との連携は適切にとっている。	R3	3.4
		R4	3.8
3	本校の教育活動について、よく知っている。	R3	3.1
		R4	3.4
4	本校は、相談や子どもの話など、しやすい学校である。	R3	3.3
		R4	3.6
5	本校は、何かあったときには、頼りになる学校である(と思う)。	R3	3.3
		R4	3.6
6	本校職員は、子どもに対して人権に配慮した対応をしている。	R3	3.4
		R4	3.8



**【集計結果の状況】**

- ・ 全体的に昨年度より、0.2P~0.4P の増で評価は上がっている。
- ・ 学校での様子を詳細に情報交換できていることや引き継などに親切に対応していることなど、感謝していただいている。このことについては、関係機関とのよき連携を継続していくことが重要である。
- ・ 令和元年度から令和3年度の学校評価アンケート（事業所）の結果が、HPに掲載されていなかった。反省し、令和3年度、4年度の比較をして今年度から掲載する。